

尾山団地第二自治会

地域防災計画

« 初 版 »



ジージョ

キョージョ

新潟市防災マスコットキャラクター

新潟市北区 尾山団地第二自主防災会

平成30年7月8日作成

【改定履歷】

目 次

第1章 基本的な考え方

1 地域として大事にしたいこと	P1
2 計画の位置付け	P1

第2章 地区の特性

1 地域の特性	P2
2 想定される災害	P2
3 共有しておきたい地域情報	P2

第3章 防災活動の内容

1 防災活動の体制	P3
2 平時の備え	P4
3 発災の恐れがある場合の活動	P5
4 災害時の活動	P6
5 復旧期の活動	P7

第4章 活動計画 P8

参考資料

1 災害情報の収集方法や連絡先	P 9
2 防災資機材や備蓄物資	P12
3 災害の基本的な知識	P13

別添資料

1 避難所運営マニュアル	P16
2 地区別防災カルテ	P16

第1章 基本的な考え方

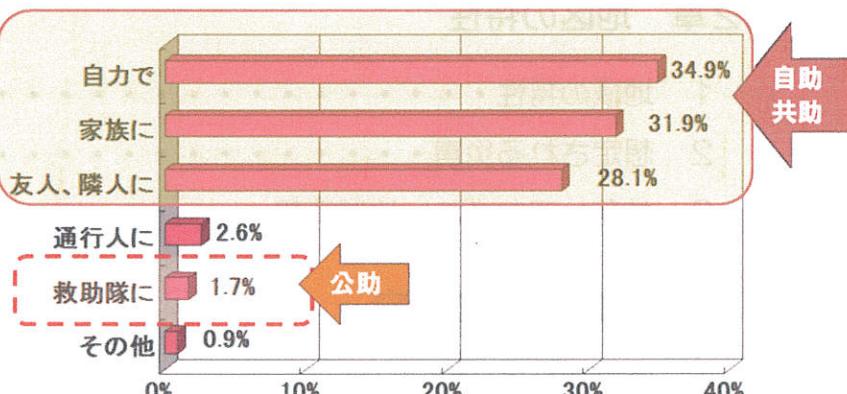
1 地域として大事にしたいこと

- ① 災害時に限らず、住民が助け合う街を目指します
- ② 向こう三軒両隣の顔が見える街を目指します
- ③ 高齢者や子供、ハンディキャップを持つ人にも優しい街を目指します
- ④ みんなが笑顔でいられる街を目指します

阪神淡路大震災における救出活動の実例

阪神淡路大震災において、神戸市内で生き埋めや閉じ込められた際に誰に救助されたかを調査したものです。

大きな災害では、自助・共助の力が大勢の命を救うことにつながることを示しています。



(出典「(社)日本火災学会:兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書」)

2 計画の位置付け

(1) 作成主体

尾山団地第二自主防災会

(2) 対象範囲

この計画の範囲は「新潟市北区尾山団地第二自治会内」とします。

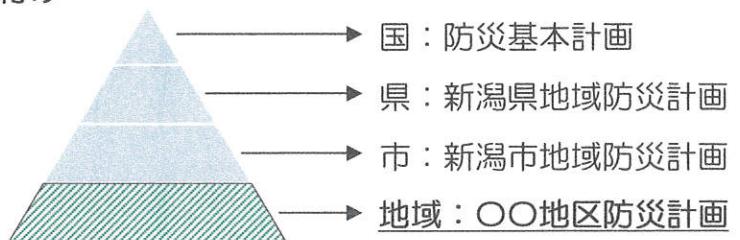
ただし、範囲の境目における活動については、近隣地区と連携して活動します。



地区防災計画の法的な位置付け

平成25年の災害対策基本法改正により、同法第42条第3項に一定の地区内の居住者が「地区防災計画」を定めることができる規定が設けられました。

併せて、同法第42条の2に地区居住者等は、市町村地域防災計画に地区防災計画を定めることを提案することができる旨も規定されました。



第2章 地区の特性

1 地域の特性

尾山団地は、日本海沿いに有る砂丘列により出来た、見国山を造成して作られた新興住宅街で、比較的頑丈な地盤と周辺に比べ高台に位置することから、災害に強い地域とされるが、南東部に月岡断層があり、直下型地震の影響を受ける可能性がある

2 想定される災害及び被害

月岡断層における直下型地震 M6～7 震度6

長岡平野西縁断層帯における地震 M7～8 震度6

※詳細は別紙「木崎小学校区防災カルテ」参照

3 共有しておきたい地域情報

(1) 地域資源

一時避難所となる「たかのお公園」

避難所として活用が期待される「尾山団地公民館」

AED 「日産サティオ」「豊栄セ・モア木崎ホール」

震度6弱以上の地震の時に開設される避難所「木崎小学校」

北陽自治会内には、「スマイルホーム豊栄」に AED 有り

(2) 危険な箇所

LPガスの貯蔵施設

高圧送電線の走る鉄塔

庵女川に掛かる橋

団地内各所に有るブロック塀

空き家

マンホール

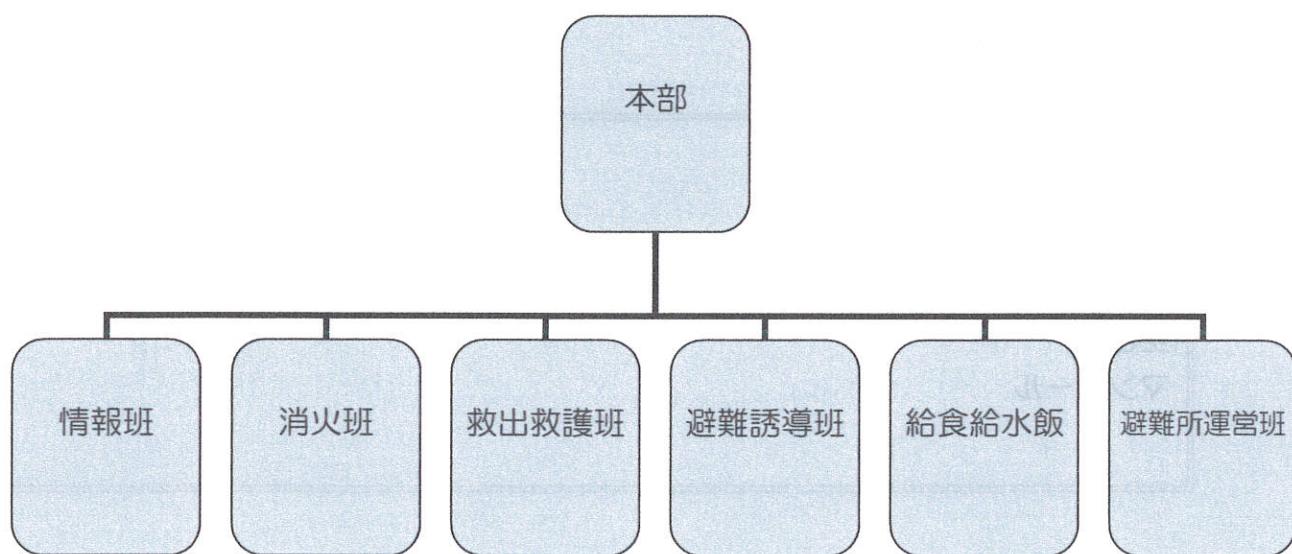
第3章 防災活動の内容

1 防災活動の体制

尾山団地第二自主防災会の班編成は下記のとおりですが、災害の状況に応じて臨機応変に対応します。なお、避難所の運営については、避難所運営マニュアルで定めた班編成に基づきます。

【班編成例】

班名	人数	平常時の役割	災害時の役割
本部	会長	全体調整	全体調整
	副会長	各種関係機関との連携強化	関係機関との連携、調整 被害・避難状況の全体把握
情報班	2	防災啓発・広報・防災マップの作成	気象情報や行政機関等からの情報収集・伝達
消火班	2	消火器具の整備・点検 消防団との連携強化の取組み	消防団と連携しながら消火器等による初期消火
救出救護班	2	救出救護資機材の整備・点検	負傷者の救出・応急手当
避難誘導班	2	避難経路の点検 避難行動要支援者の支援体制整備	住民の避難誘導 避難行動要支援者の支援
給食給水班	2	炊き出し訓練と研究	炊き出しを主導する
避難所運営班	2	避難所運営体制の検討	避難所の運営に関わる



2 平時の備え

【凡例】

地震

地震時に
行うこと

水害

水害時に
行うこと

(1) 防災訓練

<p>地震</p>	全ての班	①災害発生時、地域住民が「地区防災計画」に沿って適切な行動ができるよう、毎年度訓練を実施します。
<p>水害</p>		②訓練の実施後は訓練結果を検証し、次回訓練に反映するなど、定期的に活動内容を見直します。

(2) 防災意識や知識の向上

<p>地震</p>	本部	①市が実施する「さわやかトーク」の活用や防災士資格を取得するなど、地域住民の防災意識や知識を向上させ、災害に対応できる人材を育成します。
<p>水害</p>		②耐震対策や消火器具・防炎品等の紹介

(3) 関係機関との連携

<p>地震</p>	本部	災害時には、消防団、各種地域団体、ボランティア等と連携して活動します。年に1度、下記の団体と連絡担当窓口を確認し合い、共同で訓練を実施するなど連携強化に努めます。
<p>水害</p>		

(4) 防災資機材や備蓄物資（食料・水・生活必需品等）の整備

<p>地震</p>	本部 消火班 救出救護班 情報班	①防災資機材や備蓄物資を必要に応じて購入するとともに、食料・飲料水などの品質保持期限の確認や資機材の点検を行います（防災資機材や備蓄物資の品目、数量、保管場所は別紙参照）。
<p>水害</p>		②備蓄物資は地域住民各自が3日分以上備蓄するように啓発します。

(5) 避難行動要支援者への支援体制の整備

<p>地震</p>	本部 避難誘導班	避難行動要支援者名簿をもとに支援員を割り当て、日ごろから顔の見える関係を作ておく。
<p>水害</p>		



消火器を用いた消火訓練の様子



車いす利用者を想定した避難訓練の様

3 発災の恐れがある場合の活動

【凡例】

地震

地震時に
行うこと

水害

水害時に
行うこと

(風水害など災害の要因となる前兆がある場合)



H23.7 新潟・福島豪雨時の信濃川における
小須戸橋が浸水している様子



H23.7 新潟・福島豪雨時の角田山麓の法
面が崩壊している様子

平成23年7月 新潟県中越・下越地方、福島県の会津地方を中心とした豪雨災害により新潟市においても被害が発生。当時、中央区を除く7区に市は避難勧告等を発表し、81箇所の避難所を開設、最大3,083人が避難しました。



こういった事態に備えてすべきこと

(1) 情報の収集・伝達

水害	情報班	テレビ・ラジオ等により気象情報等を収集し、連絡網等により地域住民に伝達します（連絡網は別紙参照）。
	本部 避難誘導班	①避難誘導班、情報班を中心として、住民の所在確認や危険箇所の見回りを行います。
	情報班	②その結果を総務班に報告します。
	上記以外の班	可能な限り情報収集に努めます。

(2) 避難判断・避難行動

水害	本部	①気象状況や防犯・安全班による見回り結果等を踏まえて地域住民を避難させるか判断します。 ②市が避難情報（避難準備情報・避難勧告・避難指示）を発表した場合、情報班、避難誘導班を通じて避難行動を促します。
	情報班	連絡網等により避難に関する情報を住民に伝達します。
	避難誘導班	避難行動要支援者を含む地域住民の避難誘導に当たります。

4 災害時の活動

【凡例】

地震

地震時に
行うこと

水害

水害時に
行うこと



S30.10 新潟市中央区医学町で発生した
新潟大火の様子



H16.10 中越地震時の川口町（現長岡市）
での家屋倒壊の様子



こういった事態に備えてすべきこと

(1) 情報伝達・安否確認

<p>地震</p>	<p>情報班</p>	<p>① 災直後、地震の場合は公民館に集まり、被害状況や安否を確認します。 ②①の情報や行政からの連絡等を本部へ報告するとともに、各班で必要としている情報を伝達します。 ③災害時は噂やデマが流れることがあるので、惑わされないよう注意し、正確な情報の収集・伝達に努めます。</p>
<p>水害</p>		

(2) 初期消火

<p>地震</p>	<p>消火班</p>	<p>①火の勢いがまだ弱い場合は、消火班を中心として消防団と連携しながら可能な範囲で初期消火を行います。 ②火の勢いが強く危険であると判断した場合は、速やかに現場を離れ、消防車の到着を待ち、消防職員の指示に従います。</p>
-----------	------------	--

(3) 救出・救護

<p>地震</p>	<p>救出救護班</p>	<p>①救出・救護班を中心として応急処置を行います。 ②意識はあるが、骨折などにより自分で動けない場合は、応急処置をした後に担架・車いす等により病院や救護所などへ搬送します。 ③意識がない場合には心肺蘇生法を行います。 ④人員及び保有資機材を勘案した結果、救出が困難だと判断した場合には、消防職員の到着を待ち、指示に従います。 (次ページ上に続く)</p>
-----------	--------------	--

		<p>⑤医師による治療が必要な場合や重症患者は病院や救護所へ搬送します。</p> <p>⑥なお、活動を行うに当たっては二次災害に十分な配慮を行い、危険が伴わない範囲で行います。</p>
--	--	--

(4) 避難誘導・避難支援

地震	避難誘導班	<p>① 避難行動要支援者が一時避難場所（たかのお公園）に避難できるよう支援します。</p> <p>② 避難誘導にあたっては、情報班が集めた情報を基に一番安全と思われる経路で避難します。</p> <p>③ 避難の際は、ヘルメット等で頭部を保護するよう指示し、ブロック塀や自動販売機等の転倒物及びガラスや看板などの落下物に注意して避難させます。</p>
----	-------	---

(5) 避難所運営

地震	本部	<p>避難所単位で作成している「避難所運営マニュアル」に基づいて運営されます。そのルールに基づき協力して避難所生活を過ごします。</p>
----	----	--

5 復旧期の活動

(1) 被災者に対する支援情報の周知

地震	情報班	<p>り災証明や応急仮設住宅、災害弔慰金、被災者生活再建支援金の申請方法など、行政等が発信する情報を収集し、住民に周知します。</p>
----	-----	---

(2) 災害対策本部の解散

地震	本部	<p>災害発生のおそれがなくなった場合、または避難所が閉鎖するなど、防災活動が概ね終了したと考えられる場合、本部を解散します。</p>
----	----	---

※ 以上の事も踏まえ、現実に災害が起こった際には

全ての班員は協力して活動することが求められる

また、平日昼間等は班長不在も考慮に入れ

自治会員同士、協力して活動する

第4章 活動計画

「地区防災計画」の実行性を高めるため、平常時から定期的に会合や防災訓練を実施し、定期的に計画を見直します。

時 期	毎年行うこと
6月	防災訓練 住民参加
11月	自治会役員対象の防災勉強会

優先順位	課題を解決するために今後行うこと	時期
1	周辺の自治会と協力して情報や問題点を共有する	H30
2	備蓄品などの点検・補充	H30
3	防災士の養成	H35
4	公民館にAEDを設置する	H35
5	北区にある大学と協定を結び、連携を図る	H35

※日中の昼間、災害が起こった時には中学生の力が期待されることから

訓練を中学生と一緒にすることも重要である

※北区島見地区にある二校の大学とは、周辺自治会と共同で協定を結び

祭りなどの行事を共同で行うなど、普段から良い関係を築いておきたい

参考資料1 災害情報の収集方法や連絡先

(1) 最寄りの避難所の位置等の入手手段

アプリ名	概要	入手方法
にいがた防災アプリ	現在位置からみた最寄りの避難所やハザードマップを表示するアプリ	お使いのスマートフォンやタブレット端末の「Google Play」または「App Store」で「にいがた防災アプリ」と検索し、ダウンロード。

(2) 気象情報等の収集

テレビ、ラジオのほか、下記サイトで気象情報等を入手することができます。

サイト名	概要	URL
気象台ホームページ	気象警報、天気図など気象に関する情報全般	http://www.jma-net.go.jp/niigata/
新潟県河川防災情報システム	河川水位、雨量、ダム、気象情報等	http://doboku-bousai.pref.niigata.jp/kasen/
新潟県土砂災害警戒情報システム	土砂災害警戒情報、土砂災害危険度、雨量等	http://doboku-bousai.pref.niigata.jp/sabou/

(3) 市が発信する避難情報等の入手手段

	概要	登録、受信方法など
緊急告知FMラジオ	災害時に新潟市が発信する緊急情報をFM局を通じて放送。	FM新潟 77.5MHz FM新津 76.1MHz
にいがた防災メール	新潟市が行っている登録制のメール配信サービス。避難情報や災害等に関し緊急に配信する必要が認められる情報を配信する。月1回の試験メール配信にあわせ、各種防災啓発情報も提供。 ※登録は無料だがメール受信料がかかる	【登録サイト（PC）】 https://service.sugumail.com/niigata/member/ 【登録サイト（携帯）】 https://service.sugumail.com/niigata/
緊急速報メール	事前登録なしで災害時における緊急情報をメールで受信できるサービス。 各通信事業者の通信エリア内にある携帯電話（対応機種のみ）へ情報を一斉配信。	対応機種については、各通信事業者（NTTドコモ、KDDI、ソフトバンクなど）へお問い合わせください。
同報無線（防災行政無線）	主に津波対策として、海岸及び河川河口部に設置している屋外スピーカーを用いた音声放送。	-

新潟市緊急災害情報HP	災害時に新潟市が提供する緊急情報を公開する公式ホームページ。	<p>【新潟市緊急災害情報ホームページ】 http://kinkyu-city.niigata.jp/kinkyu/</p> <p>詳しくは、右記の二次元コードから。 </p> <p>※新潟市のHPが閲覧できない場合は、以下のHPに情報を掲載します。</p> <p>【大阪府堺市ホームページ】 http://www.city.sakai.lg.jp/niigata/index.html</p>
ツイッター	新潟市危機管理防災局の公式Twitter。 新潟市の防災情報などを配信。（配信内容は防災メールと同様）	<p>【新潟市危機管理防災局アカウント】 https://twitter.com/niigatacity_kib</p> <p>詳しくは、右記の二次元コードから。 </p>

(4) 関係機関の連絡先

施設	連携内容	電話番号	担当窓口
消防団 北方面隊早通分団	初期消火、救出救護、避難誘導など		
北区健康福祉課	避難所設置状況など	025-387-1345	
北区社会福祉協議会	ボランティアとの炊き出し等	025-386-2778	北区ボランティア・市民活動センター

(5) 緊急時の連絡先

施設	要請、問い合わせ例	電話番号	備考
北区地域総務課 地域・防災グループ	被害状況や避難情報等の市の対応等	025-387-1115	chiikisomu.n@city.niigata.lg.jp
新潟市消防局	火災発生場所、出動状況の確認	025-285-1119 (テレホンガイド)	http://niigata119.city.niigata.lg.jp/ (上記サイトでも可)
	火災や救急要請	119	
新潟県警察	交通規制情報や緊急の対応を必要としない相談等	025-386-0110	北警察署代表電話
	緊急の事件、事故	110	
豊栄病院	受け入れ状況等	025-386-2311	

新潟市水道局	断水の復旧状況や水道管の破裂等	0120-411-002 025-266-9311	平時は午前8時～午後9時（年中無休）
東北電力株式会社 新潟支店	停電の復旧状況や電線の切斷・垂れ下がり等	0120-175-366	平日・休日問わず 24H 対応
北陸ガス〔供給区域 北区、東区、中央区、 江南区、西区〕	ガス供給の復旧状況やガス漏れの発見等	025-228-2131	平日・休日問わず 24H 対応
新潟ハシモトエネ ルギー〔供給区域 北区、東区〕	ガス供給の復旧状況やガス漏れの発見等	025-274-8121	平日・休日問わず 24H 対応
株式会社N T T 東日本	公衆電話等の機器の故障、電話線の切斷・垂れ下がり等	113	平日・休日問わず 24H 対応

参考資料2 防災資機材や備蓄物資

(1) 防災資機材や備蓄物資一覧

種別	品目	数量	備考
(共)	工具セット一式	1	
(共)	発電機	1	
(共)	担架	2	
(共)	車椅子	3	
(共)	組み立て式リヤカー	3	
(共)	LED投光器	5	公民館地下倉庫内
(共)	消火器	4	
(二)	誘導灯	4	
(二)	手回し式充電ラジオ	2	
(二)	救急箱	1	
(二)	ハンドマイク	6	
(二)	ヘルメット	19	

※ (共) は三自治会共用資材

(二) は第二自治会専用品

(2) 保管場所

尾山団地公民館脇 防災保管庫 他

参考資料3 災害の基本的な知識

(1) 避難情報の種類

種類	住民に求める行動
避難準備・高齢者等避難開始	<ul style="list-style-type: none"> ●避難行動に時間を要する人… 避難に時間を要する人（ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等）は避難を開始しましょう。（避難支援者は支援行動を開始） ●通常の避難行動ができる人… いつでも避難ができるよう準備をしましょう。身の危険を感じる人は、避難を開始しましょう。
避難勧告	<ul style="list-style-type: none"> ●通常の避難行動ができる人… 避難場所への避難をしましょう。ただし、避難場所への避難がかえって危険であると判断できる場合は、屋内安全確保（安全を確保できる場所に留まる、又は屋内の2階以上の安全を確保できる高さに移動する）を行いましょう。
避難指示 (緊急)	<ul style="list-style-type: none"> ●既に避難中の人… 避難行動を直ちに完了しましょう。 ●避難していない避難対象の人… 直ちにその場から避難をしましょう。ただし、外出することがかえって危険であると判断できる場合は、屋内安全確保を行いましょう。

(2) 地震（震度階級）

震度階級	状況	震度階級	状況
震度0	人は揺れを感じない。	震度5弱	大半の人が恐怖を覚え、物につかりたいと感じる。棚にある食器類や本が落ちることがある。
震度1	屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。	震度5強	物につからないと歩くことが難しい。固定していない家具が倒れることがある。
震度2	屋内で静かにしている人の大半が揺れを感じる。	震度6弱	立っていることが困難になる。固定していない家具の大半が移動し、倒れるものが多くなる。新潟市では避難所が開設される。
震度3	屋内にいるほとんどの人が揺れを感じる	震度6強	這わないと動けない。固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが多くなる。
震度4	ほとんどの人が驚く。電灯などのつりさげ物は大きく揺れる。	震度7	耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建では、倒れるものが多くなる。

（気象庁「震度と揺れ等の状況（概要）」から抜粋して作成）

(3) 津波（津波警報・注意報）

種類	発表される津波の高さ		取るべき行動
	数値	巨大地震での発表の場合	
大津波警報	10m超	巨大	沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ビルなど安全な場所へ避難してください。
	10m		
	5m		
津波警報	3m	高い	
津波注意報	1m	(表記しない)	海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください

（気象庁「津波警報・注意報の種類」から抜粋して作成）

(4) 風水害

注意報		警報	
大雨	表面雨量指基準 8	大雨	(浸水害) 表面雨量指基準 12
洪水	流域雨量指基準 11.9	洪水	流域雨量指基準 14.9
強風	平均風速 陸上 4~9月 12m/s 10~3月 15m/s 海上 13m/s	暴風	平均風速 陸上 20m/s 海上 25m/s
風雪	平均風速 (雪を伴う) 陸上 4~9月 12m/s 10~3月 15m/s 海上 15m/s	暴風雪	平均風速 (雪を伴う) 陸上 20m/s 海上 25m/s
大雪	6時間降雪の深さ 15cm	大雪	6時間降雪の深さ 30cm
波浪	有義波高 2.5m	波浪	有義波高 5.5m
高潮	潮位 1.0m	高潮	潮位 1.3m

気象庁「警報・注意報発表基準（新潟市）H30.5.30 現在」から抜粋して作成。

詳細は同ホームページ参照

大雨・洪水の警報・注意報の基準は「新発田川流域」の基準で作成

特別警報	
大雨	台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想され、若しくは、数十年に一度の強度の台風や同程度の温帯低気圧により大雨になると予想される場合
暴風	暴風が吹くと予想される場合
高潮	高潮になると予想される場合
波浪	高波になると予想される場合
暴風雪	数十年に一度の強度の台風と同程度の温帯低気圧により、雪を伴う暴風が吹くと予想される場合
大雪	数十年に一度の降雪量となる大雪が予想される場合

(気象庁「気象警報・注意報、特別警報について」から抜粋して作成)

参考

雨量 10~20mm/h やや強い雨

ザーザー降りで地面からの跳ね返りで足元が濡れたり
家の中での話し声が聞こえにくくなる

雨量 20~30mm/h 強い雨

土砂降りの雨で、傘を差していても濡れる
寝ていても半数近くの人が気付いたり、ワイパーが効かない

雨量 30~50mm/h 激しい雨

バケツを引っくり返したような雨
道路が川のようになる

雨量 50~80mm/h 非常に激しい雨

滝のように降る雨で、傘が全く役に立たない

雨量 80~mm/h 猛烈な雨

息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じるくらいの雨

別添資料1 新潟市避難所運営マニュアル

別添資料2 地区別防災カルテ

いずれの資料も、区から提供を受け、自治会にて保存しておくのが望ましい
最新版が出たら、区も必要に応じて配布して頂くものとする